資料１

アートギャラリー令和7年度事業実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日 時点

■事業結果

開館日数	308 日	展覧会	14 件	153 日	29,350 人
来館者総数	57,148 人	ワークショップ・講座	15 件	44 日	3,069 人
（前年度	46,574 人）	貸しギャラリー	23 件	87 日	14,167 人
		その他利用			10,562 人

■事業内訳

展覧会

	令和7年度予定		実施状況		
	件数	日数	件数	日数	人数
企画展	5 件	87 日	8 件	113 日	12,055 人
共催展	7 件	48 日	6 件	40 日	17,295 人
その他事業	0 件	0 日	0 件	0 日	0 人
計	12 件	135 日	14 件	153 日	29,350 人

ワークショップ講座

	令和7年度予定		実施状況		
	件数	日数	件数	日数	人数
ワークショップ	4 件	27 日	5 件	29 日	2,693 人
鑑賞講座	1 件	2 日	1 件	2 日	63 人
実技講座	3 件	4 日	3 件	4 日	72 人
企画展関連	5 件	8 日	6 件	9 日	241 人
計	13 件	41 日	15 件	44 日	3,069 人

貸しギャラリー

		令和7年度予定		実施状況		
		貸出週数	貸出日数	利用件数	利用日数	人数
全体		14 週	87 日	23 件	87 日	14,167 人
部屋別実績	展示室A	13 週	87 日	12 件	81 日	9,793 人
	展示室B	13 週	87 日	13 件	86 日	10,744 人
	スタジオ	13 週	82 日	12 件	66 日	7,360 人

■展覧会内訳

	事業名	開催日数	会期	来館者数
	企画展			
1	オモチャたちのものがたり たぐちてるひこの世界	6 日	4月1日 ～ 4月6日	453 人
2	春の盆栽に出会う	8 日	4月12日 ～ 4月20日	809 人
3	こまむぐ展～木のおもちゃと遊びの世界～	10 日	4月26日 ～ 5月6日	3,389 人
4	Collecting a Sky−風景を渡る糸−	32 日	7月19日 ～ 8月24日	3,301 人
5	紡ぐ物語　青秀祐・木島孝文	27 日	10月4日 ～ 11月3日	1,811 人
6	アトリア×並木小学校「みんなでつくるえのぐひっぱレインボー」	4 日	11月6日 ～ 11月9日	624 人
7	アートなお正月展2026	9 日	1月9日 ～ 1月18日	1,202 人
8	田中千鶴子・イワタルリ二人展　熱と表現	17 日	3月6日 ～ 3月25日	466 人
		113 日		12,055 人
	共催展・連携事業			
1	第19回川口市美術家協会選抜展	11 日	6月18日 ～ 6月29日	1,067 人
2	第42回川口市小・中・高校硬筆展覧会	5 日	7月2日 ～ 7月6日	7,185 人
3	第33回水道ポスターコンクール展示会	5 日	9月3日 ～ 9月7日	401 人
4	第58回川口市特別支援学級合同作品展	5 日	12月3日 ～ 12月7日	2,412 人
5	川口市小･中･高校書きぞめ展覧会	5 日	2月4日 ～ 2月8日	4,587 人
6	川口の図工美術まなび展	9 日	2月14日 ～ 2月23日	1,643 人
		40 日		17,295 人
	合計	153 日		29,350 人

アートギャラリー　令和7年度年間スケジュール

令和7年度（3/31時点）

	月	火	水	木	金	土	日	展示室A	展示室B	スタジオ
		1	2	3	4	5	6	【展】オモチャたちのものがたり たぐちてるひこの世界　3/20～4/6		【講】4/6日本画講座①
4月	7	8	9	10	11	12	13	【貸】(株)ベネッセスタイルケアアート展歩生		【講】4/13日本画講座②
	14	15	16	17	18	19	20	【展】春の盆栽に出会う　4/12～20		【講】4/20伝統盆栽に触れる・楽しむ
	21	22	23	24	25	26	27	【講】4/26～5/5アトリアのガラス窓に絵を描こう 【講】4/26親父の木工教室		【展】4/26～5/6 こまむぐ展 ～木のおもちゃと遊びの世界～
	28	29	30	1	2	3	4			
5月	5	6	7	8	9	10	11	【貸】第52回川口市書道展		
	12	13	14	15	16	17	18	【貸】川審会・委嘱者会・踏朱会展		【貸】第41回鋳金工芸作品展
	19	20	21	22	23	24	25	【貸】第26回埼玉一水会の人々展		
	26	27	28	29	30	31	1			
6月	2	3	4	5	6	7	8	【貸】青木公民館絵画クラブ作品展	【貸】漫画家・上地優歩、華やかなる原画展	【貸】子どもたちの小さな大きな世界展
	9	10	11	12	13	14	15	施設整備期間		【講】6/13・14映画「目の見えない白鳥さん」上映会
	16	17	18	19	20	21	22	【共】第19回川口市美術家協会選抜展6/18～6/29		
	23	24	25	26	27	28	29			
	30	1	2	3	4	5	6	【共】第42回川口市小・中・高校硬筆展覧会　7/2～7/6		
7月	7	8	9	10	11	12	13	【展】搬入設営		
	14	15	16	17	18	19	20	【講】身近な廃材を使ってテキスタイルアートをつくろう7/26 【講】日米アーティストが語るつくること、伝えること7/27 【講】アトリアオープンアトリエ ～いろいろな画材の表現・実験をして「アート」を楽しもう！～7/29～8/2・8/5～8/9・8/19～8/23 学校連携新人研修8/19		【展】Collecting a Sky -風景を渡る糸- 7/19～8/24
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31	1	2	3			
8月	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	31			
9月	1	2	3	4	5	6	7		【貸】グループ「粋」パステル画展	【共】令和7年度（第33回）水道ポスターコンクール展示会9/3～9/7
	8	9	10	11	12	13	14	【貸】第3回さいたま剪画美術展（2025）		【貸】緑と文化の創造展
	15	16	17	18	19	20	21	【貸】第5回デジタルペインティング「夢」作品展	【貸】第8回写楽会写真展	【貸】熊木早苗個展2025
	22	23	24	25	26	27	28	【貸】第17回雅竹会書展	【貸】写真展埼玉で暮らすクルド人	【貸】ラッキーワイド造形の世界2025
	29	30	1	2	3	4	5	施設整備期間		
10月	6	7	8	9	10	11	12	展覧会準備期間		
	13	14	15	16	17	18	19	【展】10/4～11/3「紡ぐ物語 青木祐・木島孝文」		
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	31	1	2	【講】CROSS　TALK10/5		【その他】アトリア×並木小学校「みんなでつくるえのぐひっぱレインボー」10/31
11月	3	4	5	6	7	8	9	【講】色々な画材で描こう色で魅せるカラークロッキー11/8【講】ベーゴマデコワークショップ11/8.9		【展】アトリア×並木小学校「みんなでつくるえのぐひっぱれレインボー」
	10	11	12	13	14	15	16	【貸】第53回川口市美術展		
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
12月	1	2	3	4	5	6	7	【共】第58回川口市特別支援学級合同作品展12/3～12/7		
	8	9	10	11	12	13	14	【貸】小学生「身近な生き物」絵画コンクール		サポスタ企画準備
	15	16	17	18	19	20	21	【貸】川口特別支援学校開校50周年児童生徒作品展　50年の記憶、今、そして未来		
	22	23	24	25	26	27	28	【講】いろいろな版画技法を学んで作品をつくろう12/27		【講】粘土と石膏のアートワークショップで来年の干支を作ろう！11/13.14
	29	30	31	1	2	3	4	年末年始休		
1月	5	6	7	8	9	10	11	【展】アートなお正月展2026・講座成果展示 1/9～1/18		【講】墨で描いて作ろう！大きな絵馬カルタ1/10
	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25	【貸】創造アトリエおおきな木作品展		【貸】川口病院デイケア作品展AOZORA2026
	26	27	28	29	30	31	1			
2月	2	3	4	5	6	7	8	【共】川口市小・中・高校書きぞめ展覧会2/4～2/8		
	9	10	11	12	13	14	15	【共】川口の図工美術まなび展2/14～2/23		
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	1			
3月	2	3	4	5	6	7	8	展覧会準備期間		
	9	10	11	12	13	14	15	【展】3/6～3/25田中千鶴子・イワタルリ二人展-熱と表現-		
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29	施設整備期間		【貸】草月・花とアートの造形展
	30	31								

企画展（寄贈展含む）
共催展
ワークショップ・講座
貸しギャラリー
施設整備等

アートギャラリー企画展

■概要



<u>事業名</u>
　オモチャたちのものがたり たぐちてるひこの世界

<u>会期</u>
　3月20日(木)　～ 4月6日(日)　　(16日間)

<u>開館時間</u>
　10:00 ～ 18:00

<u>観覧料</u>
　無料

<u>来館者数</u>
　1,696人　（目標　1,000人）　※3月-1243人　4月-453人
　内訳）　高校生以下　611人
　　18～40歳　618人
　　41～60歳　272人
　　61歳以上　195人

<u>出品作品</u>
　田口輝彦の造形作品15点(組作品1点含む)。
　会場内に設置したワークスペースの成果物(120点)。

■目的、ねらい、効果・課題等

<u>目的</u>
・春休みの期間に、小学校低学年向けの展示を行う。
・川口ゆかりの作家である田口輝彦を周知する。
・普段美術館などの施設に入らない人たちでも、気軽に入って見れる展示会を開催する。

<u>ねらい</u>
①子供目線に立った、楽しめる展示を目指す。
②作家が来館者に望む、作品への接し方を尊重した展示を企画する。
③入りやすさを意識して、アトリアの強みである開放的な空間を活かした展示を行う。

<u>効果など</u>
・ターゲットとしていた、小学校低学年くらいの子どもから、50～60代の年代まで、幅広い客層の来館があった。
・作品を見て、オリジナルの物語を考えるワークスペースを設けた。予想よりも盛況で、成果物を展示するための掲示スペースが全て埋まるほどだった。
・預かっていたDMを全て配布することができた他、アンケートなどではファンになったというコメントが見られるなど、作家の周知という目的を達成することができた。
・ホワイエを中心とした展示は、会場面積や照明の数に制限がある。今後の企画の際にはそれらの制限をよく理解したうえで作品配置などを検討していく。
・作品に触れてしまう子どもが多かったため、子ども向けの注意キャプションを追加で設置するなどして対応した。普段アトリアに来ない層へ向けた、観覧時の諸注意などを設けることを検討する。





■概要



事業名
　春の盆栽に出会う

会期
　4月12日(土)　～ 4月20日(日)　　(8日間)

開館時間
　10:00 ～ 18:00

観覧料
　無料

来館者数
　809人　　(目標　1,000人)
　内訳)　高校生以下　　145人
　　18～40歳　　278
　　41～60歳　　183人
　　61歳以上　　163人

出品作品
・盆栽 喜楽園による、松柏盆栽(赤松 樹齢 約250年、真柏 樹齢 約40年)や花もの・実もの(錦糸南天 樹齢36年、花梨 樹齢 約100年)など多様な盆栽を前期18点、後期20点の計38点展示。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的
2023年度の企画展「盆栽 BONSAI−川口の盆栽と安行の四百年−」や2024年度の常設展「旅する絵画」内での盆栽展示からの継続的な取り組みとして、川口の名産のひとつである盆栽の、アートとしての魅力を発信する。

ねらい
①屋外からも見通しのよいホワイエの構造を活かし、並木元町公園を訪れる人や通りがかりの人にも開かれた展示を行う。
②伝統的な松柏盆栽のほか、花もの等多様な盆栽を取り上げ、それぞれがもつ季節感や表情を通じて、盆栽の魅力を伝える。
③盆栽作りの体験講座と同時開催することで、年齢や経験を問わず、幅広い世代が盆栽に親しみを持てる機会を創出する。

効果など
・川口の盆栽園「盆栽 喜楽園」による盆栽作品を、ホワイエに展示した。館外から作品が見え、無料で鑑賞ができることで、興味を持った小学生など若い世代の来場者が多く見られた。普段間近で見る機会の少ない盆栽がもつ豊かな表情を、それぞれの自由な視点で鑑賞する機会を創出することができた。
・伝統的な松柏盆栽から、かわいらしい花ものや小品盆栽までバリエーション豊かに展示することで、盆栽の表現の幅広さ・奥深さを紹介することができた。
・「盆栽をやってみたくなりました。」「盆栽に関する講習会を開いてほしい。」など、盆栽作品の鑑賞が体験講座への参加につながることを感じさせる意見を得ることができた。





■概要



事業名
　こまむぐ展～木のおもちゃと遊びの世界～

会期
　4月26日(土)　～ 5月6日(火)　　(10日間)

開館時間
　10:00 ～ 18:00

観覧料
　無料

来館者数
　3,389人　　（目標　3,000人）
　内訳）　高校生以下　　1352人
　　18～40歳　　1,112人
　　41～60歳　　571人
　　61歳以上　　354人

出品作品
　川口の木製玩具の工房「こまむぐ」の、代表的な作品「どんぐりころころ」「どんぐりきのこ」のほか、小松氏の初期作品やこまむぐの過去の作品などを多数展示。工房の歴史やコンセプトのパネルとともに紹介。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的
　・人出の多いゴールデンウィーク期間に、親子で気軽に鑑賞と体験を楽しめる企画を行う。
　・ものづくりのまち・川口に生まれ、木型作りの職人からキャリアをスタートした作家・小松和人氏と、川口の木製玩具工房「こまむぐ」の存在を市民に周知する。

ねらい
　①ゴールデンウィークに木製玩具の展示と、実際のおもちゃで遊べるコーナーを設けることで、来場者や通りがかりの親子連れが鑑賞と体験を楽しむ機会を創出する。
　②小松氏の初期の作品や、これまでにデザインしたこまむぐのおもちゃを展示することで、工房の歴史や製品にこめられた想いを作品を通して紹介する。

効果など
　・期間中は多くの親子連れを中心に3000人を超える集客があった。来場者アンケートでは「子どもも触れるスペースがあり良かった」「どんぐりが転がるコトコトという音がここちよい展覧会でした」といった感想が寄せられ、五感を使った体験と鑑賞を楽しんでいる様子が伺えた。
　・「工房に行ってみたかったので、展示で見られて嬉しい」といった意見もあり、駅や周辺施設からアクセスのよいアトリアで展示を行うことで、こまむぐを初めて知る人や、興味はあったが実物を見たことがない人に、作品にふれる機会を提供することができた。





■概要



事業名

Collecting a Sky−風景を渡る糸−

会期

7月19日(土)　～ 8月24日(日)　　(32日間)

開館時間

10:00 ～ 18:00

観覧料

無料

来館者数

3,301人　　(目標　3,000人)

内訳)	高校生以下	824人
	18～40歳	1232人
	41～60歳	755人
	61歳以上	490人

出品作品

・川口市を拠点に、日米芸術家交換プログラムの一環として制作された、テキスタイル作家の小林万里子氏とアンドレア・マイヤーズ氏の共同作品「予兆−沈黙の春を超えて−」の制作プロセスやコンセプトを、映像と写真、パネルで紹介。
・各作家個人の作品も、それぞれ6点ずつ展示。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的

・川口市を拠点に実施された、日米芸術家交換プログラムの様子を紹介し、地域の国際的な取り組みやアートとの関わりを周知する。
・テキスタイル作品の美しさや質感の面白さ、その多様な表現の奥深さを示す。

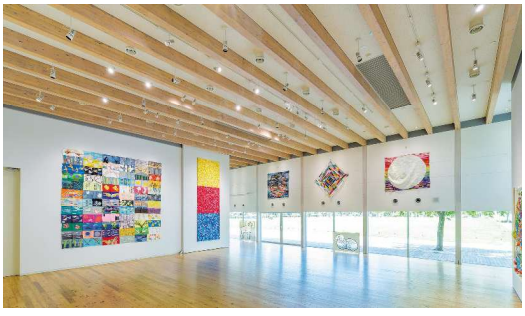
ねらい

①海外の作家との共同制作について取り上げることで、川口を拠点に活動する作家のグローバルな取り組みを紹介する。
②アトリアの空間を活かして両作家の作品を展示することで、テキスタイルアートの魅力を伝えるとともに、制作背景や作家の想いをテキストで紹介し、より解像度の高い鑑賞を促す。
③共同制作のスタジオがある川口市芝地区の繊維工場が多い地域性を取り上げ、地域の歴史とアートとの関わりを紹介する。

効果など

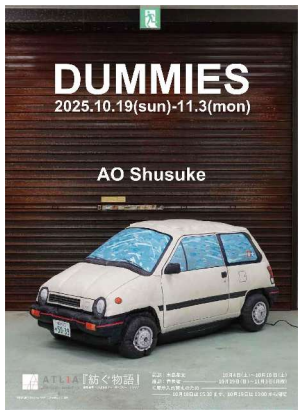
・共同制作の様子だけでなく、両氏それぞれの作品と、共同制作への想いをテキストで展示することで、コラボレーションによるお互いの作風への影響や、色使いや素材といった表現の違いがわかりやすい構成になった。スタジオでの滞在制作や、関西万博での完成作品の展示風景も写真や動画で紹介し、川口から世界へアートが発信されていく過程を示すことができた。
・来場者からは、「環境問題をアートで美しく表現していると感じた。」「テキスタイルという素材がどれだけ力強く熱のある素材か、肌で感じ鳥肌が立ちました。」「一つ一つのモチーフの意味を受け止め大切に家に持ち帰りたいと思いました。」など、熱量の高い感想が数多く寄せられた。展示を通して、来場者がテキスタイルアートの魅力や作家の想いをたしかに受け取っていることが伺えた。
・「川口でステキな作品が生まれていると知り良かったです」「芝地区の産業など、川口市内に住んでいても知らないことを知れていい機会になりました」との意見もあり、市民が地域への愛着を深めるきっかけを創出することができた。





■概要





事業名

紡ぐ物語（前期）木島孝文展「A.R.＃99X」・（後期）青秀祐展「DUMMIES」

会期

10月4日(土)　～　11月3日(月)　(27日間)

開館時間

10:00 ～ 18:00

観覧料

無料

来館者数

1,811人　（目標　1,000人）

内訳）	高校生以下	462人
	18～40歳	696人
	41～60歳	406人
	61歳以上	247人

出品作品

・[前期]木島孝文展「A.R.#99X」：木島氏が長年描き続けてきた、99枚の絵から構成されるおよそ100mの大型インスタレーション作品《A.R.#99X》シリーズを一堂に展示。
・[後期]青秀祐展「DUMMIES」：青氏の思い入れのあるモチーフを模したダミーバルーンの作品11点。車を実寸大や1/2スケールで表現した「DUMMIES ″CITY″」シリーズや、プラモデルのパッケージを模した「DUMMIES HG48SFJ-P-001」などを展示。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的

・学生時代は同じ日本画に在籍しながら、現在は異なるアプローチで「記憶」をテーマに制作を続ける二人の作家、木島孝文と青秀祐を紹介する。
・日本画を出発点に、素材や技法にとらわれずに制作する二人の作品を通して、現代美術の多様性を提示する。

ねらい

①個展形式にすることで、見ごたえのある量と質で両作家を紹介する。
②外から見通しのよい空間を活かして展示することで、美術に親しみのない新規層にも鑑賞の機会を創出する。
③作家が在廊して来場者へ作品解説を行うことで、難しいと思われがちな現代美術作品の鑑賞ハードルを下げる。

効果など

・木島氏の展示は、大作「A.R.#99X」シリーズを一堂に展示する全国で初めての機会となり、青氏の展示では、関東圏で初出品の作品の展示を実現した。
・木島氏の作品の圧倒的なスケールの大きさや、青氏の親しみやすい車をモチーフにした作品など、ガラス越しに見える展示のようすに興味を持った親子連れが数多く訪れた。両氏がこれまでに展示をしてきた画廊やギャラリーとは異なる客層に、作家を周知することができた。
・木島氏の展示では、重厚感のある作品のなかに隠れたうさぎや花のモチーフを探して楽しむ子どもも多く、難解と思われがちな現代美術作品に、親しみを持って鑑賞を楽しむようすが見受けられた。
・青氏の展示では、美術学校の学生が集団で見学に訪れ、作家と学生の深い交流の機会を創出することができた。





■概要



<u>事業名</u>

アトリア×並木小学校「みんなでつくるえのぐひっぱレインボー」

<u>会期</u>

11月6日(木)　～ 11月9日(日)　　(4日間)

<u>開館時間</u>

10:00 ～ 18:00

<u>観覧料</u>

無料

<u>来館者数</u>

624人　　(目標　500人)

内訳)	高校生以下	267人
	18～40歳	256人
	41～60歳	54人
	61歳以上	47人

<u>出品作品</u>

・令和7年10月31日に、川口市立並木小学校で2年生約100名を対象に実施した連携授業の成果作品。(講師:玉掛由美子。アートワークセラピスト、∞工房主宰)
・幅90cm、長さ10mの画用紙にヘラで絵の具をのばして描いた大作10点を展示。

■目的、ねらい、効果・課題等

<u>目的</u>

・連携授業で制作した成果物を展示する。
・アトリアと学校との取り組みについて、地域に広く周知する。

<u>ねらい</u>

・授業と展示を通して参加児童にアトリアに親しみを持ってもらい、展覧会への来場や講座参加につなげることで、美術への興味・関心を育てる。地域との連携を強化する。
・授業のみでなく、成果物をアトリアで展示することで、参加した児童に作品が展示される達成感を提供する。
・学校との取り組みを紹介することで、来場者のメイン層である小学生や親子連れに、より施設に興味・関心をもってもらう。

<u>効果など</u>

・会場では、授業に参加した児童が保護者と一緒に来場し、作品の前で写真を撮る姿が多数見られた。授業の内容を楽し気に話しながら鑑賞するようすも見られ、当初のねらいを達成することができた。
・来場者アンケートには「飯仲小学校でもやってほしいです。」といった感想もあり、他校の児童や保護者からも高い関心が寄せられていることがうかがえた。
・作品を吊るして、スタジオの広さと天井高を活かした展示をすることで、10mという作品の大きさや、児童たちのびのびとした表現を味わえる展示になった。来場者からは、「絵の具が塗られている所や、逆に塗られていない所それぞれが良いデザインとして作品になっていてよかった。ヘラだけではなく、手形もあったのが表現の広さを感じました。」といった感想が寄せられた。
・授業と展覧会についてFM川口の取材があり、11月7日(金)に放送された。市内からも関心が寄せられていることがうかがえた。





■概要



事業名
　アートなお正月展2026

会期
　1月9日(金)　～ 1月18日(日)　(9日間)

開館時間
　10:00 ～ 18:00

観覧料
　無料

来館者数
　1,202人　（目標　1,000人）
　内訳）　高校生以下　398人
　18～40歳　456人
　41～60歳　180人
　61歳以上　168人

出品作品
・公募年賀状作品　390点（参考：昨年度373点、令和4年度413点　受付期間：11月20日～12月25日必着）
・2025年12月に実施した石膏体験講座と版画講座の参加者作品（馬をモチーフにした石膏の立体作品と、干支や好きなモチーフをテーマにした版画作品）。
・A2サイズの年賀状の形をした体験型クイズ（内容：干支や年賀状、正月文化）。8問中4問正解で記念シール贈呈。
・スタジオでは、会期中に実施した関連ワークショップ「墨で描いて作ろう！大きな絵馬カルタ」の参加者作品を展示。
・ホワイエでは、絵馬や干支の馬についてパネルで紹介した。

■目的、ねらい、効果・課題等

目的
・子どもから大人まで誰もが気軽に出品する事のできる市民参加型の展覧会を開催する。
・アトリア開館から毎年開催している「アートな年賀状展」を、内容を充実させてリニューアルする。

ねらい
①年賀状の展示を通して、はがき大の作品を作る楽しさや日本の正月文化にふれる機会を提供する。応募者全員の年賀状を一堂に展示し、作品の優劣なく出品や鑑賞を楽しめる展覧会をめざす。
②幅広い年齢層に、暮らしの中に息づく日本の風習と手づくりならではの味わいを伝える。
③出品数が減少傾向にある年賀状を講座の参加者作品と一緒に展示することで、展示の充実度を維持した事業継続を図る。

効果など
・年賀状の出品数は前年の473点から490点へとわずかに増加した。今年度は市内掲示板での広報を減らし、代わりにInstagramで作品募集の広告を掲出した。結果、個人出品では県外からの出品が8点から28点へ増加し、気軽に参加できる展示の場として需要がある事を感じられた。例年参加している団体からの出品も多く、今年も市民の作品発表の機会を創出することができた。
・昨年度好評だった年賀状型のクイズを今年も設置した。今年も記念シールを179人に渡し、子どもを中心に多くの来場者が参加した。
・講座の参加者作品の展示を増やしたことで、市民の新たな出品機会を創出するとともに、館の事業についても周知を図ることができた。立体作品の展示があることで、展示室の中央の空間も使い、立体感のある構成を実現できた。
・来場者からも「ワークショップも楽しそう」「年賀状を出す方が減りましたが、立体など様々な作品を楽しむことができました。」など、肯定的な意見が寄せられ、今後の事業の継続に繋がる展覧会となった。





■概要



事業名
　田中千鶴子・イワタルリ二人展　熱と表現

会期
　3月6日(金)　　～ 3月25日(水)　　(17日間)

開館時間
　10:00 ～ 18:00

観覧料
　有料 （一般500円・学生300円・中学生以下無料）

来館者数
　466人　　（目標　400人）
　内訳）　高校生以下　　43人
　　18～40歳　　78人
　　41～60歳　　170人
　　61歳以上　　175人

出品作品
・田中千鶴子氏による最初期から最新作までの鉄のインスタレーション作品の内、作家厳選の8点。(内1点は東京都現代美術館より借用)
・イワタルリ氏による鋳造技法で作成されたガラスのインスタレーション作品5点

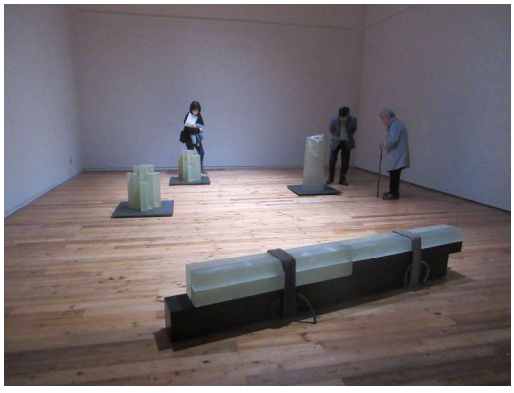
■目的、ねらい、効果・課題等

目的
・川口と関係の深い鋳造技法を用いて作品制作を続ける二人の作家を紹介する。
・作品がつくられた場所(工場)に着目し、モノづくりの工場と美術との関係性を考える機会を提供する。

ねらい
・鋳造技術や、作品が制作された工場という川口市民にとって身近な環境を手掛かりとして、作品に触れあえる機会を提供する。
・川口市民にとって身近な場所である工場から、アート作品が生まれるということを伝えることにより、アートについて考えるきっかけを作るとともに、より身近に感じてもらえるようにする。

効果など
・会場の照明から作品の位置決めまで、数日をかけて綿密な調整を行った。数量こそ少ないものの展示空間を贅沢に使用した重厚な作品に、来館者は感銘を受けている様子だった。
・有料の展覧会だったということもあり、無料の展示と比較し、来館者数は控えめとなった。しかし、芳名帳を確認する限り、東京近郊のギャラリストや学芸員などが名前を連ねており、界隈における注目度が高いことを感じさせた。
・今回の展示の見どころの一つとして、東京都現代美術館で保管されている田中氏最初期の作品「卵」がある。「卵」は収蔵から半世紀がたつが、本展を合わせて計2回しか出展されていない程に露出の機会が少ない。そのため、本展に向けて制作され、初出展となる「IKI2026」と並び非常に希少な鑑賞の機会となった。
・各作家とも国内外において長年キャリアを重ねており、本来であれば入館料も相応にかかるベテランの作家である。しかし、本展においては市民への教育普及の観点から世代を問わず入館しやすい金額での開催に踏み切った。学生が熱心に作品について田中氏に質問し、知見を得る様子が見られるなど、若年層へのアプローチを達成することができた。人数が抑えられていたからこそ、来館者一人一人に対して作家の割く時間が多く取れたことにより、非常に高い質の普及効果があったと考えられる。



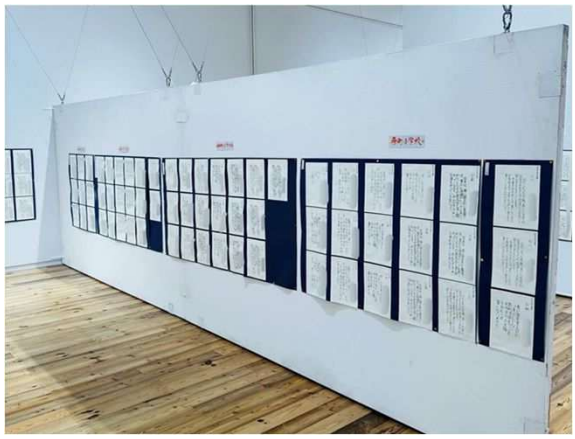


アートギャラリー共催展

事業名
　第19回川口市美術家協会選抜展
会期
　6月18日(水)　～ 6月29日(日)　　(11日間)
主催
　川口市美術家協会
出品
　96点　　／ 川口市美術家協会会員
来館者数
　1,067人　　(前回 1,121人)
　内訳) 高校生以下　75名　　41～60歳　369名
　　18～40歳　128名　　61歳以上　495名



事業名
　第42回川口市小・中・高校硬筆展覧会
会期
　7月2日(水)　　～ 7月6日(日)　　(5日間)
主催
　川口市教育研究会書写研究部
出品
　1600点以上　　／ 市内小・中・高校生
来館者数
　7,185人　(前年度 6,335人)
　内訳) 高校生以下　2,847人　41～60歳　1,668人
　　18～40歳　1,828人　61歳以上　842人



事業名
　令和7年度(第33回)水道ポスターコンクール展示会
会期
　9月3日(水)　　～ 9月7日(日)　　(5日間)
主催
　川口市上下水道局
出品
　1,797点　／ 市内小学4年生
来館者数
　401人　　(前年度 367人)
　内訳) 高校生以下　78人　　41～60歳　94人
　　18～40歳　81人　　61歳以上　148人



事業名
　第58回川口市特別支援学級合同作品展
会期
　12月3日(水)　～ 12月7日(日)　　(5日間)
主催
　川口市立小中学校特別支援学級設置校長会、川口市教育委員会
出品
　1,544点　／ 市内小学校39校・中学校18校
来館者数
　2,412人　(前年度 2,174人)
　内訳) 高校生以下　1,080人　41～60歳　415人
　　18～40歳　758人　61歳以上　159人



事業名
　川口市小･中･高校書きぞめ展覧会
会期
　2月4日(水)　～ 2月8日(日)　　(5日間)
主催
　川口市教育研究会 書写研究部
出品
　1,320点　／ 市内小･中･高校生
来館者数
　4,587人　(前年度 5,018人)
　内訳) 高校生以下　1,675人　41～60歳　921人
　　18～40歳　1,421人　61歳以上　570人



事業名
　川口の図工美術まなび展
会期
　2月14日(土)　～ 2月23日(月)　　(9日間)
主催
　川口市教育委員会
出品
　261点　／ 市内小･中･高校生
来館者数
　1,643人　(前年度 1,136人)
　内訳) 高校生以下　583人　41～60歳　379人
　　18～40歳　468人　61歳以上　213人

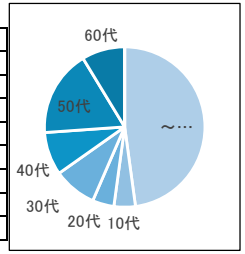


アートギャラリー企画展アンケート集計

展覧会名	こまむぐ展～木のおもちゃと遊びの世界～
実施期間	2025/7/19～8/24
観覧者数	3,389人
回答数	総数 87人　（●一般 23人　◎子供向け64人）
回答率	2.57%

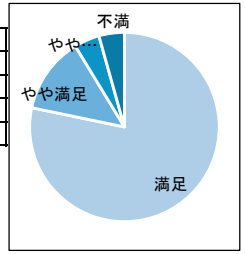
●年齢比

～9歳	11
10代	1
20代	1
30代	2
40代	2
50代	4
60代	2
70代	0
未回答	0



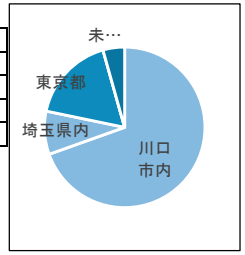
●当館の雰囲気

満足	18
やや満足	3
やや不満	1
不満	1
未回答	0



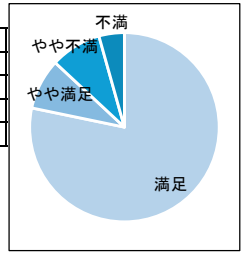
●住まい

川口市内	16
埼玉県内	2
東京都	4
その他	0
未回答	1



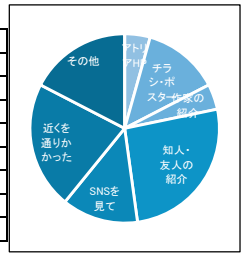
●職員の対応

満足	18
やや満足	2
やや不満	2
不満	1
未回答	0



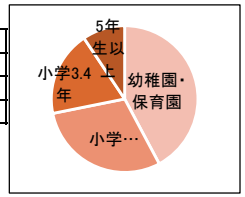
●来館きっかけ

広報かわぐち	0
アトリアHP	1
チラシ・ポスター	3
作家の紹介	1
知人・友人の紹介	6
SNSを見て	3
近くを通りかかった	5
その他	4
未回答	0



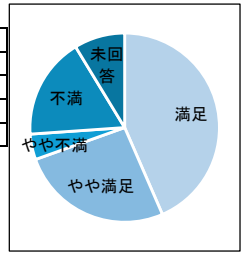
◎学年

幼稚園・保育園	27
小学1.2年	19
小学3.4年	12
5年生以上	6



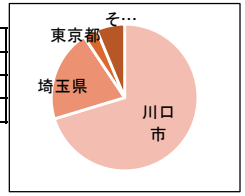
●展示内容

満足	10
やや満足	6
やや不満	1
不満	4
未回答	2



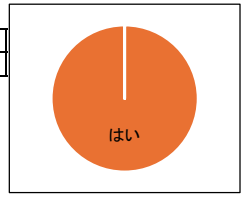
◎住まい

川口市	45
埼玉県	13
東京都	2
その他	4



◎面白かったか

はい	64
いいえ	0



コメント 一般抜粋

- 子どもも触れるスペースがあり、よかったです。
- こまむぐを知って工場に行ってみたいと思った矢先だったので満足
- 木のおもちゃを広いスペースで遊べて楽しそうでした。
- 子ども達が楽しそうに遊んでいる姿にほっこりしました。
- 作品の遊びかたが分かると、もっと楽しめそうだとおもいました。初めて見る作品でたのしかったです。ありがとうございま
- おもちゃをコンサルタントをしており、そのFacebookで今回の展示を知りました。家にも少しずつどんぐりちゃんを集めているのですが、沢山の種類をまじかに見て親の私も子供と一緒に大興奮でした。大きな家いつか欲しいです。
- 高いけど魅力的な木のおもちゃは憧れです…いつかたくさんそろえてあたたかい雰囲気の遊び場を家につくりたい！！
- 子どもがとても楽しんでいました。ありがとうございました。
- 手に取って遊べるスペースがあり、子どもがとても喜んでいました。暑いので屋内でゆっくり遊べるところも良かったです。
- 開放的なガラス空間にピッタリのこまむぐ展！小松さんの想いの詰まった展覧会でした！
- ずっとこまむぐカフェに行ってみたいと思ってましたがなかなか機会がなく、今回の展示をとても楽しみにしていました。どんぐりのおもちゃが実際にさわれて2歳の娘も楽しんでいました。大きな男の子がどんぐりnおもちゃを横向きにしてスピードを出して転がす遊びを始めてしまい、周りの子どもも真似をして転がすようになってしまった時、スタッフの人は注意すらしてくれなかったのに、その男の子がいなくなってから小さな子たちに転がして遊べと注意していました。注意する相手が違うと思います。私がいくら子どもを注意しても大きなお兄さんが乱暴に遊んでいたら2歳児は真似してしまいます。大人が注意するのは当たり前ですが、こちらは他の子どもは注意しずらいので、見ていたスタッフの方に注意してほしかったです。

コメント　子供抜粋

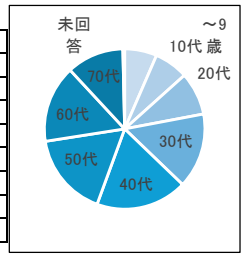
- どんぐりとかおうちとかすごくかわいかったです。いえにほしいな。
- ころころころがるきのこさんやおうちととらっくの積めるあそべるおもちゃがたのしかったです。
- てくてくうごいてとちゅうでとまってびっくり
- 人形たちがどうやってうごいているのか知ってつくってみたいです。
- きのこのビー玉でうごくやつがすごかったです。
- とてもたのしかったです。
- まいおともだちとぴくにくしてたのしかったです
- どんぐりがコロコロしてかわいい。販売してますか？
- かわいかったです。またやってください。
- とてもいろとりどりでたのしかったです！またきます～ハッピー
- おもしろかったです
- わたしはおままごとのおもちゃがだいすきです。
- 木でくくられていてかべも木のさいげんをしていたからすごいです！きりかたや色のさいげんもよかったです。
- かべのきのこがあるくやつがおもしろいし、たのしかったです。
- どんぐりの坂をさわるのが楽しかったです。
- たのしかったよ。またくるね。
- おもしろかったこと、世界一長いどんぐりの坂
- たのしかった！
- いつもここだいすきありがとね
- ここのおもちゃとてもだいすきです！
- とてもたのしかったです。
- どんぐりちゃんの女の子
- わたしも作りたいと思った
- わたしも木でいろいろな作品をつくりたいと思いました。
- こまむぐが楽しかったです。ありがとうございました。
- おもしろかったです。
- 工房にも行ったことがおるのですが、今回大きな坂があって楽しめました。
- 木のぬくもりを子供が楽しく遊べるおもちゃで愛を感じました！

アートギャラリー企画展アンケート集計

展覧会名	Collecting a Sky −風景を渡る糸−
実施期間	2025/7/19〜8/24
観覧者数	3,301人
回答数	277人
回答率	8.4%

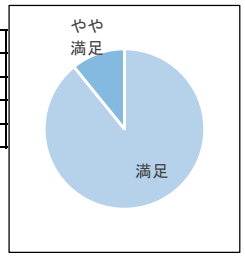
年齢比

〜9歳	18
10代	19
20代	24
30代	42
40代	51
50代	47
60代	43
70代	32
未回答	1



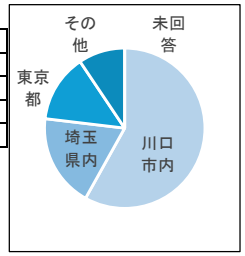
当館の雰囲気

満足	247
やや満足	30
やや不満	0
不満	0
未回答	0



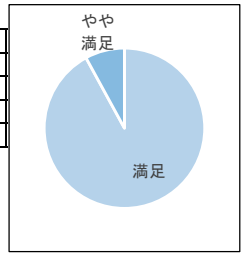
住まい

川口市内	161
埼玉県内	52
東京都	38
その他	26
未回答	0



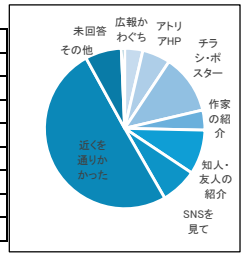
職員の対応

満足	255
やや満足	22
やや不満	0
不満	0
未回答	0



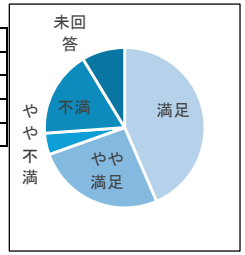
来館きっかけ

広報かわぐち	11
アトリアHP	17
チラシ・ポスター	36
作家の紹介	12
知人・友人の紹介	27
SNSを見て	22
近くを通りかかった	151
その他	22
未回答	2



展示内容

満足	10
やや満足	6
やや不満	1
不満	4
未回答	2



コメント

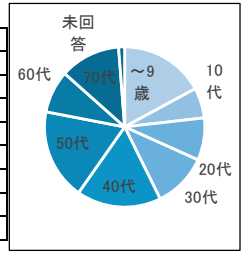
- ちょうどいい広さだと思います。イベントのビデオを見られたので、参加していなくても雰囲気を味わえました。川口が鋳物の町なのは有名ですが、繊維業も盛んだったのは知りませんでした。
- アトリアの吹き抜けの光とか、ずっと来るたびに有効活用しないのかなと思っていたけど、今回の展示は水色や緑、赤などの自然の色味が強い作品の後ろから光が入っていたからとても綺麗だと思った。今後も絵ハガキの展示とかだったら使いにくいかもしれないけど、出来る限りでこの光を活用して欲しいと思った。
- アートの歴史みたいなのとか色とりどりのアートが印象に残りました！表面上だけでなく立体っぽくなっているアートがすごいなと思いました！やり方を知りたいなと思いました。
- 作品も素敵でしたが、芝地区で繊維産業が盛んだったことや夢洲が渡り鳥の多くわたってくる場所であることなど、初めて知ることが出来て良かったです。
- 夏の子供たちへのアトリア開放は、素晴らしいです。どっぷり芸術に触れられる場の提供を今後も続けてほしいです。作家さんの作品も布や糸を扱っていることで、自然をテーマにあたたかみがあり、また考えさせられるもので、素敵でした。
- 初めての川口でしたがすてきな作品をみてすごいーと思いました。糸、布（古いものも）身近にあるのに、なかなかうまく活用できません。自分の感情を表現する、表現したものが自分の感性や感覚をおしえてくれるだと思いました。よいものを見ました。ありがとうございました。
- 小林万里子さんの作品が好きで今回このような広い空間で大きな作品をまとめて見ることができて嬉しかったです。大阪万博のコンセプトや、共同制作をしているアンドレアさんのことも知れて、テキスタイルアートの表現の面白さや可能性に
- ほぼ東京に位置する地域利点を活かして都内美大（東京藝大,多摩美、武蔵美、女子美、東京造形大etc,,,）の学生作品や、関連する芸術家の作品展示の場として活かしてほしい。川口市民（文化度のさほど高くない）の美術鑑賞の場として一地域美術館として、運営を期待する。
- テキスタイルの展示というのが珍しくて立ち寄りました。展示が変わる度にチェックしていますがいつ来ても明るくて静かでいい場所だなと思います（チョット狭いけど,,,）西口に美術館ができても続いてほしいです。
- 可能なら展示物のレプリカ、ロゴを使用したグッズ等を販売いただけたらより身近にテキスタイルを感じることができ、作品としても素敵なものが多いので欲しいと思いました
- 風景を渡る糸という展示をたまたま通りがかりで見させていただきました。大きな作品をひとつひとつ見させていただき心がとても落ち着きました。ありがとうございました。作家さんのお話を聞いてみたくなりました。
- かわいいテキスタイルに惹かれて見に来ましたが、芝地区の産業など川口市内に住んでいても知らないことを知れていい機会になりました。暖かな作品に自然や生き物の美しさを感じることができました。ぬり絵も子どもたちが楽しめました
- 公園に来た通りかかりに、アートに触れられることに喜びを感じました。大きな作品の圧倒感は子どもに伝わりやすく良
- 素晴らしい展覧会でした。作家の小林さんとマイヤーズさんの世界観やコンセプトに深く共感し、美しくメッセージ性の強い作品に感動しました。このような社会的なテーマに取り組む作品展を今後もっと開催してほしいです
- 大変すばらしい展示でした！パワフルで美しく、アーティストのお二人の感性、色の美しさ、大胆さ、その中にある繊細さ、全て楽しませていただきました。大阪万博の渡り鳥については気になっていたので、お二人がそれをテーマに合作されたこと、誠実だと感じました。とても良い展示をありがとうございました。
- 透けた素材の作品が窓側に展示してあって、外の風景（マンションや木々、空など）と一緒に楽しめて、面白いし、とても綺麗だと思いました。
- ぬり絵が思いがけず楽しかった。小林万里子さんのダイナミックな作品とアンドレアさんのカラフルな作品がどれを見てもワクワク心がおどりました！ステキな展示を見せていただきありがとうございました。
- 初めて来館しましたが、木のぬくもりと彩光を感じる素敵な場所でした。またすばらしい作品を拝見でき感動しました。
- 展覧会のコンセプト説明があり、理解しながら鑑賞することができました。また色々なテーマで実施してほしいです。
- 子供が学校からもらってきたチラシを見て心を奪われて見に来ました。どの作品もすばらしくて感動しました。すきまからも見たりしましたが裏もきれいでした！自分でも何か作ってみたくなりました。
- 初めて来ましたが、ご親切に対応していただいて嬉しかったです。ありがとうございました。
- 川口芝地区の事を知る良い機会となった。地元の良さを広める活動をもっとやって川口のよい部分を全国に発信していっ
- 初めて来ましたがとても素敵な場所でテキスタイル作品がとても良かったです。また、次の展示も楽しみにしています。
- もっと周知したらよいと思う。
- 作品がつくられるまでの作家さんの想いを知れたことが良かったです。チラシに載っていたメイン作品も実際に見れると思ったので、それが見れなかったのが残念でした。
- コンセプトとテーマ性をもっと明確に表記した方が良いと思いました。
- アリオへ来た人をこちらに誘導するには導線が良くないと思いました。駐輪場が出入口そばにあるといいと思います。あと、アンケートは帰る前に渡してもらえるとありがたいです。ファイルを持ってみることになるので。

アートギャラリー企画展アンケート集計

展覧会名	紡ぐ物語（前期）木島孝文展「A.R.#99X」・（後期）青秀祐展「DUMMIES」
実施期間	2025/10/4～11/3
観覧者数	1,811人
回答数	82人
回答率	4.5%

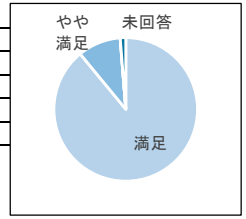
年齢比

～9歳	14
10代	5
20代	7
30代	9
40代	14
50代	15
60代	7
70代	10
未回答	1



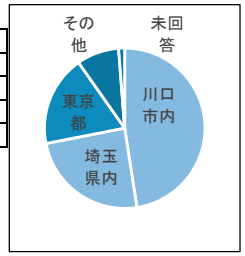
当館の雰囲気

満足	73
やや満足	8
やや不満	0
不満	0
未回答	1



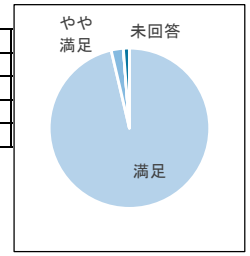
住まい

川口市内	39
埼玉県内	20
東京都	15
その他	7
未回答	1



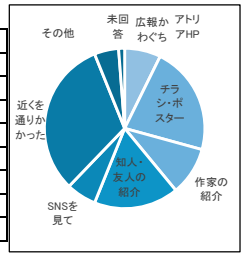
職員の対応

満足	79
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	1



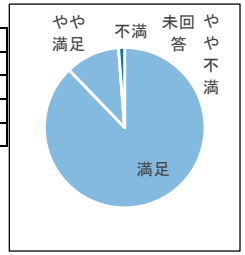
来館きっかけ

広報かわぐち	0
アトリアHP	6
チラシ・ポスター	18
作家の紹介	8
知人・友人の紹介	14
SNSを見て	5
近くを通りかかった	26
その他	4
未回答	1



展示内容

満足	72
やや満足	9
やや不満	0
不満	0
未回答	1



コメント

- 自然の中の人の創り出した中に宿ってゆく陰陽の中のうごめき、壮大なテーマを感じた。紡ぐ物語前期期間中にまた来ます。前回の刺繍（テキスタイル）につづき、大興奮です。
- 作品の制作行程を知りたかった。そんなコーナーがあったら嬉しい。
- ガラス越しに、風景のようにみえる作品のスケールが印象的でした。記憶の断片がちりばめられたような実体があるようでない様子は、私のもつ記憶というもののイメージと重なりました。
- 心が豊かになるような気がします。どんどん開催していただきたいです。現代アートもみたいです。
- 思ったよりも綺麗で、人がこんなものを作れるのかと思ってすごいなと思いました。人が細かいことを少しずつ手作業でしっかりと作っている様子を見てみたいと思いました。
- 思っていたものとは違う長大な作品で驚きました。ギャラリーの使い方の自由さも新鮮でした。
- 見ごたえのある作品ですごくよかったです。公園と面していて子供の声がきこえてくるのもいい空気感があっていいです。
- 広く静かで、もったいない程のスペースに感謝です。何年間もの芸術的作品制作見せていただき感謝。
- 木島孝文展「A.R.＃99X」を拝見しました。大型の連作がひとつながりして観られてストーリー性が感じやすく良かったです。作家さんの作品解説（コンセプト等）などステートメント出していただけると自己解釈に加えて楽しめたと思うので、その点だけ少し物足りなく感じました。
- 過去作など存じ上げないで伺ったのですが、大変な迫力に圧倒されました。お名前を覚えておいてまたどこかでお見掛けしたら見にいきたいと思います。ありがとうございました。
- 前回の展示を観た時に気になりました。プラモデルの箱など全くのダミーではなく、書体がデフォルメされているのがおもしろかったです。
- 今回作家からのDMにて展示を知りました。目の前には公園があり、休日には子どもが目の前で遊んでいるところもみれて、すごくステキな場所だなと感じました。展示スペースも広く、ギャラリーとしては十分すぎるほどだと感じましたし、今回の青さんの作品ともマッチしていて、とてもすてきな空間でした。また、東京に来る際など、訪れたいと思います。ありがとうございました！
- ⑪の作品を部屋入口で見た直後は何がモチーフになっているのかわからなかったけど、遠くからうっすらと「ロボの上半身じゃないか！？」と気付いた瞬間鳥肌がたちました。アートについてほとんど触れてこなかったせいで、深いテーマを感じることは難しかったけれど、日常で見えてるものが記憶のなかでどういう形をしているか捉えたことなかったなあと学びがありました。
- 入場無料なので、気軽に美術作品が観れてとても良いと思います。今後も楽しみにしています。
- いろんなものがプクプクふくらんでいるのが、可愛かったです。外に子ども達が遊んでいて平和な雰囲気で癒されました。
- 掲示板を見かけて来ました。興味を引くので、よい宣伝方法だと思います。
- 形は車や書籍、ロボットなのに、材質が違うというのがおもしろかった。本物とは違う、やわらかい質感。
- 40代の男性の心に刺さる作品、展覧会でした。館内の雰囲気も落ち着いていてよかったです。
- 外の眺めと連続しているので開放感があって気持ちよかったです。作品のスケールと空間がうまく合っていると思いました。
- 絵の中にいろんな動物や形を見つけました。楽しかったです。見つけて喜びました。また来たいです。
- 絵だけでつまんなかったです。でもまた来ます。
- 思いのほかスケールが大きくびっくり、感動しました。材料にも。東京の友人に伝えたらぜひ見たいけど、会期が短いと。もう少し長く開催されたらよかった。すぐ近くで作品を見られるのでココが好きです。
- 夕方暗くなった時に外から浮かんできた光景が鮮烈でした。
- 大作品の展示がよかったです。一人の作家の展示企画に感動しました。
- 想像していたより、実物が大きくインパクトがあった。別の作品もみてみたいと思う。
- 市内、県内にこだわらない姿勢（ギャラリーの）がすばらしいと思います。ダミー、インフラ、奥の部屋の作品面白いです。パネルが通風口で、というのは現実とのつばがりを感じさせました。ギャラリーの雰囲気にあわせて、車の販売店みたいな見せ方にしたのも考えられていると思います。
- 作品ひとつひとつに説明が添えられていないのがかえって良いなぁと感じました。ダミーという言葉に戦争が見え隠れしない世界を強く望む！
- しずかな展覧会なので雰囲気よくおしゃれなのでまた来たいです。少しさわってもわれにくいものをできたら幸いです。
- いろいろな作品があって、車やふくらませて空気を入れた本などあって、すごいなと思いました。